

一般選抜公立大学中期（3月8日）

国語

（問題冊子）

＜受験上の注意＞

- （1）試験中は試験監督者の指示に従うこと。
- （2）筆記用具・時計以外はカバン等に入れてイスの下に置き、机の下棚には何も置かないこと。
- （3）携帯電話等の電源は切っておくこと。
- （4）質問等がある場合には黙って挙手をする事。
- （5）中途退場は認めない。（体調の急変等については、挙手をして申し出ること）
- （6）試験開始の合図があったら、問題冊子（17頁）と解答用紙（1枚）の枚数を確認すること。
- （7）受験番号（算用数字）と氏名は解答用紙に記入すること。
- （8）解答はすべて解答用紙に記入し、提出すること。解答欄は表と裏の両面にある。
- （9）解答用紙にある破線の四角内には、何も記入しないこと。
- （10）解答は鉛筆書き（シャープ・ペンシルも可）とし、楷書で丁寧に書くこと。
- （11）試験時間は60分である。

(注) 解答はすべて解答用紙の指定された場所に記入しなさい。

一 次の設問に答えなさい。

問一 提示されている語句の意味として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つずつ選び、番号で答えなさい。

(1) 頓挫

- ① 海上や水上をただよい流れること。
- ② 感覚が鈍くなること。
- ③ 物事が途中で急に行きづまること。
- ④ ちよつとした物事にもおそれを抱くこと。
- ⑤ 他の人が使い古した物。

(2) 一目置く

- ① 一員となってある事柄に参加すること。
- ② 全体の中で一つの役割を引き受けること。
- ③ 自分より優れている者に対して一步譲ること。
- ④ ばかにして相手にしないこと。
- ⑤ 本気になって他人に手を貸すこと。

(3) イデオロギー

- ① 同じ対象に二つの矛盾する感情を抱いているさま。
- ② 社会集団の行動などを規定する気風や習慣。
- ③ 相反する二つの事柄の板挟みになり、身動きの取れない状態。
- ④ 悲劇などを見て、感情・精神が浄化されること。
- ⑤ 歴史的・社会的立場に基づいて形成される考え方・思想の傾向。

(4) ステレオタイプ

- ① 行動や考え方などが、型にはまって固定的であること。
- ② 個性にあふれているさま。独特なさま。
- ③ これまでにないものを新しくつくり出すさま。
- ④ とりあつかいに差をつけること。
- ⑤ 複数のスピーカーで再生すること。

問二

提示されている意味を表す語句として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つずつ選び、番号で答えなさい。

(1) 将来のことについてあれこれと無用の心配をすること。

- ① 回帰
- ② 杞憂きゆう
- ③ 示唆
- ④ 真面目
- ⑤ 無駄

(2) 現実のままであること。実際の通りであること。

- ① 顕著
- ② 知見
- ③ 如実
- ④ 明瞭
- ⑤ 歴然

(3) 基本的原理として絶対的に正しいとされる定説。

- ① アサイン
- ② ダンピング
- ③ ドグマ
- ④ マーチャント
- ⑤ メセナ

問三 提示されている語句の用例として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つずつ選び、番号で答えなさい。

(1) 校正

- ① この本は全五巻で校正されている。
- ② 先生に発表原稿を校正してもらう。
- ③ 大学に來ない怠惰な友達を校正させる。
- ④ 大学の授業で福利校正について学ぶ。
- ⑤ 裁判官は校正な立場から審理を行う。

(2) 肝をつぶす

- ① 先生の急な怒鳴り声に肝をつぶした。
- ② 先生の助言に肝をつぶして、新しい道に進むことにした。
- ③ だらだらと長い発表に肝をつぶした。
- ④ 友人の親身な忠告は私の肝をつぶした。
- ⑤ 友人は肝をつぶしたようで、落ち着いて発表を始めた。

(3) インスパイア

- ① 先生の授業にインスパイアされて研究室を決めた。
- ② インスパイアとして有名な先輩に大学祭の広報を依頼する。
- ③ 交渉事では議論のインスパイアを握った側が優位に立つ。
- ④ 日本はインスパイアの観光客が増加している。
- ⑤ 様々な価値観との接触が社会を変えるインスパイアを生み出す。

二 次の文章を読んで設問に答えなさい。

“Children at Risk”としての「子ども虐待」を含めた「子どもの問題」の要因を明らかにすることは大変困難ですが、豊かな先進社会では物質的な豊かさを作り出すために、都市化が進み、都市に人口が集中・過密化し、人々は時間に追われ、忙しい日々を送り、労働効率を高めるために昼夜の区別がなくなってしまうとされています。それは子どもの生活にも影響し、生活リズムとともに生体リズムも乱れ、子どもは慢性疲労症候群のような状態になっているとされています。そういったことが、教育のなかで起こる「子どもの問題」の要因の一つであるという考えも出ています。

「子ども虐待」となると、地方の自然豊かな地域でも起こっているもので、それだけでは説明できません。しかし、関係を否定する根拠もありません。わが国の現状を見ると、生活の場は、都市でも地方でも **A** のものが見られるからです。テレビなどはその代表でしょう。また、古い動物実験ですが、マウスを過密状態で育てると出産数は激減し、子育ても手際よくいかないという報告もあります。

「子ども虐待」はもちろんのこと子どもの「いじめ」「不登校」から始まって「殺人」「自殺」までの「子ども問題」の発生を予防するには、子どもにやさしい社会をデザインすることが、まず、第一であると思います。現在、子どものことはほとんど考えず、大人の都合によって社会のあらゆる面がデザインされていることが子ども問題の大きな要因の一つと考えられるからです。子どもは、いつでも、どこでも、われわれ大人がそれなりにケアしなければ心身共に健康な大人にはなれないのです。先に述べたように“Children at Risk”したがって、子どものことを真剣に考え、心配りをして子どもの立場になって社会のあらゆる面をデザインする必要があります。それを「チャイルドケアリング・デザイン」「child-caring design」と筆者は呼んでいます。

一般には、“child care”を「保育」というように、ケアは「**あ**する」「看病する」などの意味で使われることが多いの

ですが、“child-caring”のケアは、子どものことを「**い**する」「気にする」などの意味です。子どもの事故を心配して建築物ばかりでなく玩具や教材をデザインする、子どもが楽しく勉強できるように考えて教育制度をデザインするなど、現在 **a** 子どもの関係する社会のすべての「モノ」とか「コト」を、「チャイルドケアリング・デザイン」する必要があると思うのです。

デザインするには、それなりの科学的基盤がなければならないことは明らかです。個人的には、それを「子ども学」に求めるべきであると考えています。子どもに関係する諸科学を **B**、学際的に包括して、子どもに関係する自然科学と人文科学を融合した、要素還元論を取り込み乗り越える、新しいパラダイムの科学が必要だと思うのです。筆者はそんな考えでインターネットによる調査研究、意見交換を目的とした「Child Research Net」をベネッセの（財）福武学術文化振興財団のご支援で作り、「**日本子ども学会**」（“Japanese Society of Child Science”）も設立しました。

筆者の関係した「日本子ども虐待防止学会」“Japanese Society for Prevention of Child Abuse and Neglect”（JaSPCAN）は、幸いわが国の対応システムが多職種、多機関に関係していることもあって、十分に学術的になっています。したがって、JaSPCANで発表された知見を充分に反映して、「チャイルドケアリング・デザイン」を考えなければならないと思っています。

「チャイルドケアリング・デザイン」と簡単に申し上げましたが、**b** 実行するとなるとなかなか難しいと思います。子どもはそもそも生活環境からの被害を受けやすいし、その被害を発見するのも難しいものです。さらに、社会の豊かさを支える科学・技術の進歩そのものが、成長・発達の過程にある子どもにとっては苦しみになる場合もあるでしょう。 **C**、経済成長に伴い環境破壊、食の安全が破られるなどの子育ての危機が起こるのです。しかし、経済成長を止めるわけにはいかないことも事実なのです。発展途上の国では、危機そのものが子どもだけでなく社会の成員のすべてにとって起こっているがゆえに、問題はさらに深刻です。しかし、問題解決のために、英知を絞って一步一步「チャイルドケアリング・デザイン」を実践する方策を立てなければならないことも確かです。

豊かな社会の陰の部分としての「子ども虐待」を予防するには、薄くなった人間関係を濃いものにするのが第一と言える

でしょう。それには、生活の場をやさしいものにする必要があります。すなわち、「感性の情報」豊かな社会にすることです。その目的を果たすにはまず子ども達から始めるのが良いのではないのでしょうか。子どもたちに優しくすることを教えるのです。また、町に子守唄が流れるようにするのも一つの方法だと思います。NHKのテレビに童話とか子守唄を流す短い番組がありますが、それなりの役を果たしていると思います。日本子守唄協会の活動も、そういった意味で評価されます。

もちろん、虐待に直接関係する「子育て支援」も重要であることは言を俟ちません(注)が、国や地方自治体が直接イニシアティブをとる施策と一般のアイデアによるNPOなどによるボトムアップのやり方とを上手く補完するのが良いのではないのでしょうか。国や自治体が行うやり方が有用ならば、既に問題は解決しているはずで、子ども虐待件数が減少していないことから、それは明らかだと思うのです。

(川崎三彦・増沢高編著『いっしょに考える 子ども虐待』明石書店、2008年より)

(注) 言を俟ちません：改めて言うまでもない。

問一

A	B	C	に入る最も適切な語を、次のア～オから一つずつ選び、記号で答えなさい。			
A	普遍	イ 共通	ウ 共同	エ 一致	オ 統一	
B	還元的	イ 親和的	ウ 自然的	エ 民主的	オ 統合的	
C	したがって	イ ところが	ウ 反対に	エ そもそも	オ ただし	

問二

あ、いに入る組み合わせとして、最も適切な語の組み合わせを次のア～カから一つ選び、記号で答えなさい。

ア	あ	心配	い	診察	
イ	あ	心配	い	保護	
ウ	あ	世話	い	心配	
エ	あ	世話	い	保護	
オ	あ	保護	い	心配	
カ	あ	保護	い	診察	

問三

筆者は傍線部aにおいて、「チャイルドケアリング・デザイン」が、必要であると述べているが、その理由として最も適切なものを次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 年齢、性別、障害の有無、文化的背景などに関係なく、すべての人々にとって利用しやすい社会になるから。
- イ 子どもにやさしい社会にすることが、子ども問題の予防にもつながるから。
- ウ 大人の視点で危険な「モノ」や「コト」を排除することが、子ども虐待の予防につながるから。
- エ 子ども自身がデザインする社会を形成すれば、子どもにとってやさしい社会になるから。
- オ 子どもを保護することによって、子ども虐待を防止することができるから。

問四 筆者は傍線部bにおいて、「チャイルド・デザイン」を実行することが難しいと述べているが、その理由として適当でないものを次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 子どもは、生活環境から被害を受けやすくその被害は発見されにくいため。
- イ 社会の豊かさを支える科学・技術の進歩が、子どもには苦しみとなる場合もあるため。
- ウ 経済成長に伴う環境破壊によって、間接的に子育ての危機が起こるため。
- エ 経済成長を止めなければ、子ども虐待を予防することができないため。
- オ 環境破壊によって食の安全が損なわれれば、子育てが難しい状況になるため。

問五 傍線部cにおいて筆者は、何が明らかだと思っているのか、最も適切なものを次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 国や自治体が、主体となって総力をあげて子ども虐待の防止に取り組むこと。
- イ 国や自治体が積極的に子ども虐待を防止する施策を打ち出すためには、民間企業やNPO法人がイニシアティブをとること。
- ウ 国や自治体と民間が一体となった公益法人を設置すれば、子ども虐待を減少させることができること。
- エ 国や自治体が子ども虐待防止の施策を主導するとともに、NPO法人の意見もすくいあげるなど、補完する方法が必要であること。
- オ 国や自治体がトップダウン方式ですばやく施策を推進し、その後の支援をNPO法人に担ってもらうこと。

三 次の文章を読んで設問に答えなさい。

トラクターは、いろいろな自由を人間にもたらした。

トラクターは、役畜(注1)の世話、長時間の耕耘(注2)労働、農作業の疲れ、そういったものから、人間たちを解放した。耕地を歩く距離も減り、一人で耕すことのできる面積が増え、農村に余暇をもたらしたのである。農業生産力を高め、人々を都市に向かわせ、人口を人類史上では例外と言えるほどまでに増やすことに貢献した。トラクターが、近代の1を人々にもたらしたこと、それ自体は否定しようがない。

他方、『ウクライナ語版トラクター小史』で、トラクター技師ニコライは、こんなメッセージによって彼の「トラクター小史」を閉じている。「技術者が開発したテクノロジーはおおいに活用すべし。ただし謙虚な心と内省をA忘るべからず。テクノロジーに支配されてはならず、テクノロジーを征服の手段にしてはならない」

人間がトラクターを支配するだけでなく、トラクターに支配された面、あるいは、トラクターによって何かを支配した面とはどういうものか。三点ほど挙げてみよう。

第一に、女性に自由を与えることができたのか、という問いを欠かしてはいけない。トラクターは、その性質から言って、農業を女性に開放できるポテンシャルを持っていたはずだった。だが、R・C・ウィリアムズが述べているように、それは実現されず、アメリカや日本のみならず、女性トラクター運転手を称揚したソ連でさえも、戦時中の労働力不足の時代を唯一の例外として、トラクターはやはり男のものでありつづけた。中国でもそれは変わらなかった。戦後の世界で事実上のトップを走った日本のトラクター業界でも、「女」が2に退きがちであり、「燃える男」と「赤いトラクター」の「二人」の世界を描いた歌が、小林旭(注3)の声でお茶の間に流れたのである。芦田祐介(注4)は、「ジェンダー関係の再生産装置」と農業機械を見ているが、それはこうした文脈にある。

第二に、秩父宮勢津子妃（注5）は、藤井康弘（注6）に、「こんな機械が普及すると、農家の人たちの生活や心にゆとりが生まれますね」と言ったが、これも **B** そうだったのか、問わねばならない。たしかに、トラクターの耕耘は、牛馬耕よりも農民たちに余暇を与えたかもしれない。心のゆとりが生まれたこともけつして否定できない。だが、当然ながら、農業機械購入のローンを組むこととセットであった。近代化資金の整備によって、馬力の大きなトラクターでも農民たちの手に届くようになった。だが、「機械化貧乏^b」という日本で用いられた言葉が示しているように、借金からは逃れられなくなる。それが新たな仕事を生み、余暇は消えていく、という悪循環に陥ることもある。

第三に、「ダストボウル」（注7）などのアメリカの土壤侵食や土壤劣化を生み出したトラクターと化学肥料のパッケージは、そのまま戦後はアフリカに輸出された。アフリカの砂漠化の原因は、すべてこのパッケージによるものではないにせよ、植林によって防げる種類の問題ではない。耕地の砂漠化をどう止めるかを考えなくては、根本的な解決にはいたらない。

国際政治経済学を専門とする勝俣誠によると、「南アフリカの東ケープ州政府は、二〇〇二年から黒人の小生産者を対象として、種子、化学肥料、農薬、耕耘機、レンタル料をセットにした「食糧増産」という名の支援パッケージを開始した」という。この種子には遺伝子組み換え作物も含まれていて、その種子にのみ有効な農薬を購入させられる。アフリカの農業に関しての勝俣の次の言葉は、まさに耕耘機などの農業技術をもたらす「北」の国が装う **3** を批判している。

「外から持ち込まれた新テクノロジーを大量投入すれば、一挙に増産が見込まれるといった「ビッグバン型変革」は、その成果が表れないと、対象とされた農民よりも圧倒的な発言力を持つ国際機関や援助国の側が、農民の無知や動機の不足などに責任を転嫁することさえある。その結果、そもそも外部からの介入の仕方そのものが、地域の実情に適合していなかったのではないかという反省が見落とされてしまう」（傍点は筆者）

C、トラクターは農民たちに夢も誇りも自由も与えたが、それだけではない。農民たちに新たな縛りを与えている。その事実を、**A** 忘れてはならない。

（藤原辰史『トラクターの世界史』中央公論新社、2017年より）

（注1）役畜：農耕や運搬などの労役に用いる家畜。

（注2）耕耘：田畑を耕したり、雑草をとったりすること。「耕耘」との表記で代用されることもある。

（注3）小林旭（一九三八～）：俳優・歌手。「燃える男の赤いトラクター」というフレーズが印象的な彼の曲が一九七〇年代後半～一九八〇年代初めのトラクターのテレビコマーシャルに起用された。

（注4）芦田裕介（一九八四～）：地域社会学・農村社会学を専門とする社会学者。

（注5）秩父宮勢津子妃（一九〇九～一九九五）：日本の皇族で、秩父宮雍仁親王妃。

（注6）藤井康弘（一九〇九～一九七七）：歩行型トラクターの開発者。

（注7）ダストボウル：一九三〇年代のアメリカ中西部の大平原で発生した大規模な砂嵐。当地に移植した農民たちが作物を植えるためにそれまで表土を抑えていた草をはぎとったことにより、地表が直射日光にさらされ、乾燥して土埃になったものが強い風で空中に舞い上がり、空を覆う巨大な黒雲となり、遠く離れた都市や沿海部へと達した。

問一

A B C のそれぞれに入る最も適切な語を、次のア～オから一つずつ選び、記号で答えなさい。なお A は本文中に2カ所ある。

A	ア	しばしば	イ	時々	ウ	ゆめゆめ	エ	はからずも	オ	いやしくも
B	ア	ひよつとして	イ	総じて	ウ	なかならず	エ	果たして	オ	さしあたり
C	ア	たしかに	イ	もつとも	ウ	ところで	エ	あたかも	オ	さらに

問二

1 2 3 のそれぞれに入る最も適切な語を次のア～オから一つずつ選び、記号で答えなさい。

1	ア	矛盾	イ	遺産	ウ	混迷	エ	果実	オ	超克
2	ア	後景	イ	遠方	ウ	劣位	エ	末尾	オ	圏外
3	ア	具体性	イ	中立性	ウ	消極性	エ	主体性	オ	積極性

問三

傍線部 a について、なぜ農業機械が「ジェンダー関係の再生産装置」と見られているのか。その理由として最も適切なものを次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 農業機械が開発されるたびに、それを扱うのは女性がふさわしいと認識されてきたから。
- イ 農業機械が開発されるたびに、それを扱うのは男性がふさわしいと認識されてきたから。
- ウ 農業機械の開発が進むにつれ、それを扱うのに性別は関係ないと認識されるようになったから。
- エ 農業機械の開発が進むにつれ、それを扱うのにふさわしい性別について議論がなされるようになったから。
- オ 農業機械の開発が進むにつれ、それはもっぱら男性にしか扱えないものであることが明らかになったから。

問四

傍線部 b について、「機械化貧乏」とはどのような状態を表しているか、三十五字以内で説明しなさい。

問五 傍線部cについて、地域の実情に適合していない外部からの介入の事例として適切でないものを、次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 新テクノロジーを大量導入して、食糧の増産を一挙に達成するビッグバン型変革を推進すること。
- イ 土壌侵食や土壌劣化を生み出したトラクターと化学肥料のパッケージを輸出すること。
- ウ 耕地の砂漠化をどう止めるかを考えながら、その土地に合った耕作方法を実践すること。
- エ 遺伝子組み換え作物を含む支援パッケージを推進し、それに有効な農薬を農民に購入させること。
- オ 「北」の国が、耕耘機などの農業技術をもたらすことを通じてアフリカの農業を支援すること。

(問題終わり)